

残暑お見舞い申し上げます

今年も暑い毎日が続きます、いかがお過ごしでしょうか。A.T.Networkは8月1日をもって創立から満12年となりました。
最近ではPFI事業への挑戦機会が増え、今まで以上に劇場コンサルタントの役割と価値を明確にすることが必要になってきたと感じております。
従来通りの公共事業・PFI事業・民間事業と仲良くこの夏を過します。

A.T.Network 代表 近江哲朗

小野市うるおい交流館「エクラ」今秋竣工

兵庫県・小野市の現場がいよいよ佳境となってきました。愛称も「エクラ」と決まり、11月末に竣工を迎えるべく急ピッチで作業が進められています。客席形はオーバル（楕円形）を基調としており、昨年オープンした和泉シティプラザ「弥生の風ホール」と相似形ながらテイストの異なった新しい環境が生まれます。運営はNPO法人北播磨市民活動支援センターが担当します。詳細は小野市・NPOのHPよりご覧ください。

【設計：佐藤総合計画】

写真 - A.T.Network



ちょっとした工夫がクレームを消す？

劇場・ホールで必ずと言って良いほど「客席が寒い！」「ステージが見にくい！」といったクレームがあります。

熊谷文化創造館・太陽のホールでは建築的にもサイドバルコニー席からの視線には充分配慮しましたが、サイドバルコニー席に専用のクッションを用意しました。

またキラリ ふじみではお子様用座布団とブランケットを用意してお客様の希望で自由にお使いいただける用意をしました。特に客席の温度については同条件でも「暑い」と感じる方もいれば、「寒い」と感じる方もいられます。空調設備の性能では計り知れない感覚的な現象が生じます。

紹介した熊谷文化創造館もキラリ ふじみも、職員のアイデアによってこのようなオリジナルサービスを実践しています。お客様に対して暖かく迎えようとする工夫がうまく伝わっている好事例です。

いずれにしても、このような運営上のちょっとしたお客様一人一人への配慮が伝わると、クレームは自然に出なくなるものです。

クレームは決してハードにすべて起因することではないようです。

写真 - A.T.Network



熊谷文化創造館



キラリ ふじみ

特殊建築物等調査資格者

昨年秋、近江・神戸揃って久しぶりに講習受講～資格取得審査という慣れない環境に身を投じてみました。特に無資格でもできる劇場コンサルタントだけに、なんとか説得力を維持するツールの一つと思いきり切ったものの、特に近江は20数年ぶりのこの環境にパニック状態？しかしお陰様で無事二人共取得しました。

基本構想づくりと市民参加

基本構想策定といえ、とかく設置主体である行政が地元の声の大きな活動団体に気を使い検討委員会などを立上げて、それこそ玉虫色の議論を経てやや一方的にまとめあげてしまうといった手法がこれまでは比較的多く見られました。最近では少しずつ変り始めているように感じます。本来的に現状を分析し、将来的発展を予測して妥当性の高い基本構想を考えようとする動きですが、そこへ参加する市民側にもまだまだ多くの課題が残されています。自分たちの現在の活動のみで発展、継承について配慮できずに注文ばかりが先行するといった状況は相変わらず？活動する市民に加えて客観的な観客としての市民の参加が解決の手掛りかもしれません。

編集後記

この春、新型のコピー・FAX・プリンター複合機を導入しご機嫌だったのも束の間、今度はPC性能アップの必要性を痛感することになりました。そんな時にクラッシュまで、トホホ

夏期休暇のご案内・他

夏期休暇・・・8月11日～15日
8月以降も近江・神戸とも留守となる場合が考えられます、ご迷惑をお掛けしますがご了承いただきますようお願い致します。